

日本史演習4C- I

科目ナンバリング SEM-307
選択必修 2単位

山本 英貴

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、『新八王子市史』資料編3・4に収録される史料を素材として、史料の読み方および史料を読み進めていくうえで必要な研究書・辞典類といった参考文献の探し方・使い方の習得を目的としている。

2. 授業の到達目標

卒業論文の作成に必要な文献の探し方、研究書・辞典類を使用して史料を正確に読むための力を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

報告および質疑応答への参加状況(60%)
課題の提出(40%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

八王子市市史編集委員会 『新八王子市史』資料編3・4(2013・2015年)
『新八王子市史』通史編3・4(2017年) 八王子市

5. 準備学修の内容

受講生は報告担当時、史料の書き下し文と現代語訳、語句と人名、史料をもとにした考察を載せたレジュメを作成する。それ以外の学生は、毎週、授業で取り上げる史料の現代語訳を課題として提出する。

6. その他履修上の注意事項

授業は、受講生成成のレジュメをもとに実施する。他の受講生にも関わることであり、報告担当時はレジュメをしっかり作り込むこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 本授業の説明・報告者の選定
- 【第2回】 報告レジュメの作成方法
- 【第3回】 報告レジュメの作成準備
- 【第4回】 報告レジュメの作成準備
- 【第5回】 報告レジュメの作成準備
- 【第6回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第7回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第8回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第9回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第10回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第11回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第12回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第13回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第14回】 担当者の報告と質疑応答
- 【第15回】 授業のまとめ